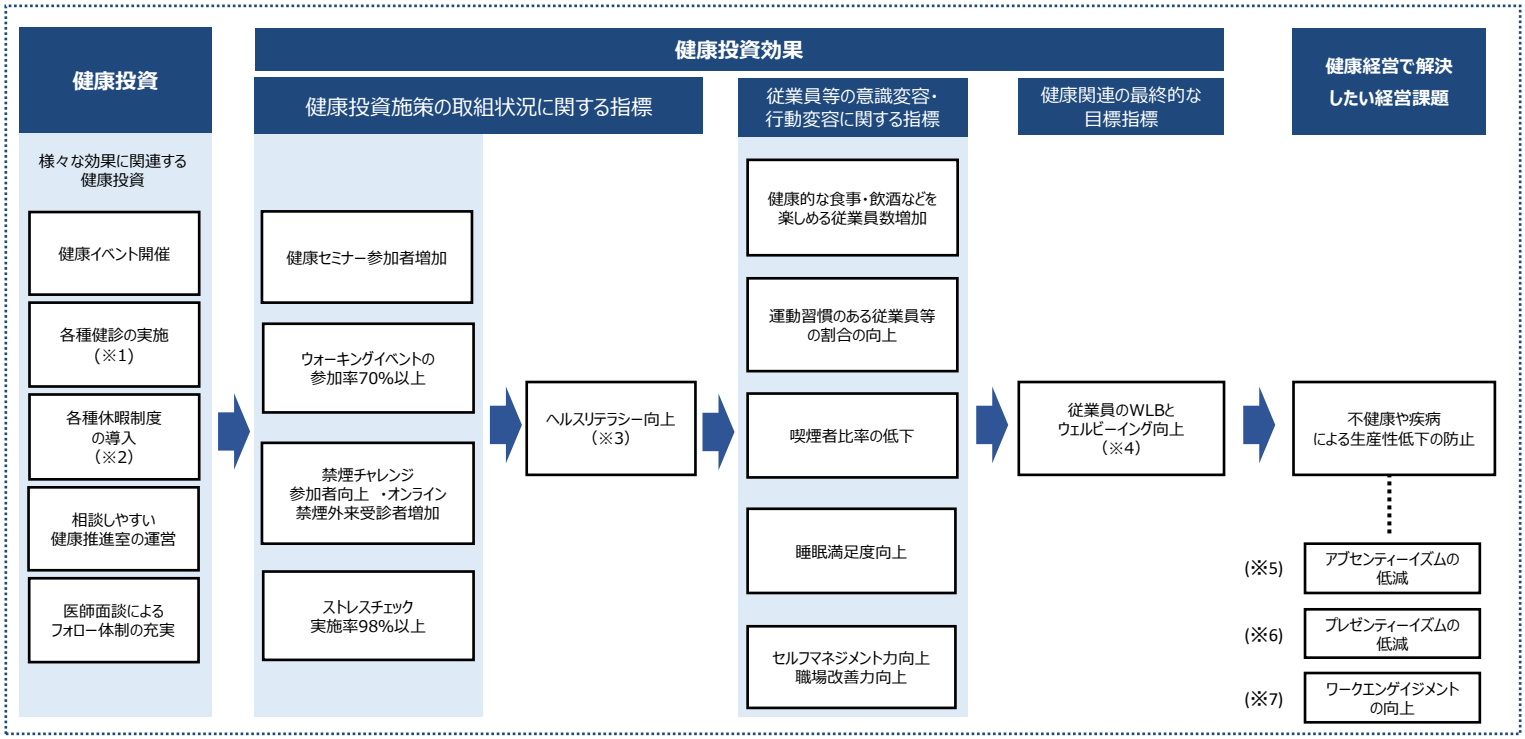
【健康経営の実施により期待する効果】

体調不良による休業（疾病休業日数率）低減 ⇒ 組織活性化 ⇒ 事業継続安定

〈背景と課題〉 工場操業から30年以上経過し、従業員の高齢化に伴う疾病リスクの上昇が課題です。元気に働き続けて欲しい信念のもと、健康経営に力を入れ、疾病休業率低減を目標に様々な施策を企画、運営、実行していきます。

〈具体的な数値目標〉 疾病休業日数率（有給休暇含）2024年度末0.5
〔従業員が体調不良で休む日数を1ヶ月に1日として換算（1日で回復することを目標）〕
〔5年間の推移〕2019（1.05）2020（0.78）2021（1.48）2022（1.31）2023（2.08）

〔健康経営戦略マップ〕



社会的価値
在席する従業員だけでなく退職した従業員および家族が高いQOLを維持すること

企業価値
生産性向上により従業員等1人当たり営業利益の増加

※1 各種オプション健診（社外実施含む）：婦人科（子宮頸がん・乳がん）、脳ドック（MRA/MRI）、肺ドック（肺CT）、配偶者健診など
※2 各種休暇制度：年次休暇、結婚休暇、忌引休暇、女性従業員の産前産後休暇、出産育児サポート休暇、赴任休暇、通院休暇（妊産婦）積立休暇（子の看護、親の介護、私傷病、ボランティアなど、項目により時間単位の取得可能）、生理休暇など
※3 ヘルスリテラシー ：健康や医療に関する正しい情報を探したり、活用したりする能力
※4 WLB：ワークライフバランス
※5 アブセンティーイズム：傷病による欠勤
※6 プレゼンティーイズム：出勤はしているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスが出せない状況
※7 ワークエンゲイジメント：仕事に対してポジティブで充実している心理状態。活力・熱意・没頭の3つの要素が兼ね備えられた状態

【健康課題と目標】

・血圧リスク者率　（収縮期血圧 180 mmHg以上または　拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合）
2021年　0.2%　2022年　0.3%　2023年　0.49%　　**＜目標値＞　0%**

・血糖リスク者割合　（空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合）
2021年　0.3%　2022年　0.0%　2023年　0.49%　　**＜目標値＞　0%**

・適正体重維持者率　（BMI　18.5～24.9）
2021年　68.8%　2022年　69.5%　2023年　64.6%　　**＜目標値＞　75%**

・精密検査受診率
2021年　87.2%　　2022年　86.0%　2023年　97.2%　　**＜目標値＞　100%**

・疾病休業日数率　＝　休業日数合計値　/　同月度所定内就業日数　〈1日単位の体調不良による休暇含む〉
2019年　1.05　2020年　0.78　2021年　1.48　2022年　1.31　2023年　2.08　　**＜目標値＞　0.5以下**

・メンタルヘルス長欠休職率
2021年　11/615人＝1.78%　2022年　7/619人＝1.13%　2023年　8/612人＝1.3%　　**＜目標値＞　0%**

・疾病（傷病）による休職状況
2021年　2/615人＝0.32%　2022年　2/619人＝　0.32% 2023年　8/612人＝1.3%　　**＜目標値＞　0%**

・有給休暇取得率
2021年　82.6%　　2022年　86.3%　　2023年　89.5%　　**＜目標値＞　90%以上**

・平均有給休暇取得日数
2021年　16.5日　　2022年　17.0日　　2023年18.1日　　**＜目標値＞20日以上**

・月平均所定外労働時間
2021年　19.2H　　2022年　17.2H　　2023年17H　　**＜目標値＞15H以下**

・離職状況（離職率）　※定年退職を除く
2021年　1.9%　　2022年　1.28%　　2023年　2.1%　　**＜目標値＞　1%以下**

・平均勤続年数
2021年　20.25　　2022年　20.76　2023年　21.3

・産休育休取得率、産休育休後復職率　　**＜目標値＞　100%維持**
どちらも100%

【ストレスチェック回答者・回答率　2021年586名97.2%　2022年568名95.5%　　2023年588名98%】

・プレゼンティーイズム：ストレスチェックに追加した質問票による過去3か月間に何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、通常のパフォーマンスを発揮できなかった日数とその損失割合の調査から1年間の損失割合を算出
2021年　1.48%　2022年　1.27%　2023年　1.97%　　**＜目標値＞　0%**

・アブセンティーイズム：ストレスチェックに追加した質問票による過去3か月間に心身の体調不良によって仕事を何日休んだかの調査から1年間の損失日数を算出
2021年3.6日　2022年1.27日　2023年1.38日　　**＜目標値＞1日以下**

・ワークエンゲイジメント：ストレスチェックに追加した新職業性ストレス簡易票の「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」の2問の平均点
2021年2.3 2022年2.38　2023年2.36　　**＜目標値＞　4点**

・高ストレス者率
2019年　16.5%　　2020年　14.3%　2021年　13.6%　2022年　12.0%　2023年　14.0%　**＜目標値＞　10%以下**

・運動習慣（1週間に2回・1回あたり30分の運動を実施）率　**＜目標値＞　30%以上**
2021年 40歳以上18.9% 全体18.2%　2022年 40歳以上15.7% 全体15.9% 2023年　40歳以上15.7%　全体16.2%

・健康経営施策投資額　１人当たり約6万円（21・22・23年度）※健診、ストレスチェック、感染症予防、福利厚生費等

【安全衛生の取り組み】

・安全衛生委員会開催状況
2023年度：5月26日,6月29日,7月27日,8月25日,9月29日,10月26日,11月30日,12月21日,1月18日,2月22日,3月21日,4月25日に開催（請負・協力会社との安全衛生委員会も同様の内容で毎月実施）

・労働災害　2022年度　2件　2023年度　3件　　**＜目標値＞　0件**

・危険源特定・リスク評価
全社で約2000件のリスクを抽出し、リスク評価の結果89件を著しいリスクとして対策を実施　**＜目標＞リスク低減対策100%実施**

【健康教育実施状況】 ヘルスリテラシーの向上：　教育機会の充実

2023年 4月上期健診時にAGEs(最終糖化産物）チェック実施（請負・協力会社含む）
5月健康増進　RIZAP運動オンラインセミナー全社案内実施
6月オンラインセミナー全社案内実施（肩こり・腰痛、運動、ヨガ　各回1時間）
幹部DVD教育　ストレスチェック　部下との関わり方について　全員参加
運動指導＋禁煙教育研修　33名参加（請負・協力会社含む）※データ化して社内・請負協力会社に展開
e-learning実施　：腰痛について　　実施率：　98.6%　　＜目標値＞　100%
9月下期健診時にベジチェック実施（請負・協力会社含む）503名参加
10月子宮頸がん予防セミナー　オンライン開催、介護オンライン教育　全幹部社員へ展開
睡眠セミナー＆花粉症についての教育　56名参加　満足度98%
11月ダイバーシティセミナー：精神・発達障がい者しごとサポーター養成講座　41名参加　満足度93%
12月ニコチネルパッチでの禁煙チャレンジ参加者向けセミナー　15名参加　5名禁煙達成

2024年　3月アサーションセミナー：ANA元客室乗務員から学ぶコミュニケーション術　オンライン開催
女性の健康週間セミナー:高尾　美穂　先生オンライン開催
4月骨密度教育_婦人科健診対象者　134名実施　回答率72%
上期健診時に血管年齢測定実施（請負・協力会社含む）、心理的安全性DVD教育　全社展開（部門展開率100%）
5月幹部研修（傾聴・面接スキルアップ・自己理解）参加率56%　満足度92.8%※欠席者は10月フォロー予定
7月コレステロールセミナー：特保対象者への食事指導（管理栄養士からワンポイントアドバイス）　参加者52名　満足度100%
ニコチネルパッチ・ガムでの禁煙チャレンジ参加者向けセミナー（請負・協力会社含む）4名参加